

平成30年度  
(第26期)

# 事業計画

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日



公益財団法人 とかち財団

## I 基本方針

我が国の景気は穏やかな回復基調が続いており、平成29年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において、人口減少・少子高齢化をイノベーションのチャンスとして捉え、中長期的な成長に向け、「人材への投資を通じた経済社会の生産性の向上」を改革の中心に据えて課題を克服するとされている。一方で、十勝地域は人口減少・少子高齢化による地域経済の縮小等、様々な課題に直面している。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団には、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、平成29年度より実施している「第2期産業活性化ビジョン」（以下「第2期ビジョン」という。）の取り組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第2期ビジョンでは、そのマスタープランの一つに「産業人材の実践的な育成」を掲げており、設立当初から実施する技術者育成事業に加え、平成28年度からは地域の起業・事業創発を促進するための起業家育成事業（トカチ・コネクション）を実施している。

そして、平成30年4月1日には、地域産業の担い手の育成による起業・事業創発の促進について共通の方向性を有する「公益財団法人起業家支援財団」（神奈川県）と合併し、同財団の理念を受け継ぐ形で、新たな公益目的事業として「事業創発支援事業」を開始することとなった。これにより、当財団による「ひとつづくり」の取り組みは一層加速するものと考えている。

第2期ビジョンの2年目にあたる平成30年度は、「合併」という大きな節目の年であり、当財団は「新たなスタート」を切ることになる。

引き続き実施する「ものづくり支援事業」「地域連携支援事業」と合わせ、公益目的事業の新たな「3本柱」を軸に、外部資金や受託事業の受け入れを複合しながら、技術開発・人材育成等の一体的な展開と地域連携の拡大・強化により、「売れる」ものづくりや起業・事業創発に繋げ、十勝の「稼ぐ力」を創り出していく。

また、新たに実施する事業や、これまでの取り組みの成果等について、平成30年3月にリニューアル予定の当財団ホームページを有効活用し、オウンドメディアやSNSを複合しながら、積極的かつ分かりやすいPR・情報発信を図る。

組織の運営・管理にあたっては、職員の能力向上、施設の適切な維持管理、経費の節減、基本財産の管理及び財務の健全化に努める。

こうした取り組みを通じ、当財団は“十勝における産業支援プラットフォーム”としての存在価値をなお一層高め、地域の産業活性化に貢献する所存である。

## II 事業計画

### 1 ものづくり支援事業【公益目的事業1】

食品分野及び機械・電子分野の「ものづくり」に関し、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）を活用した技術開発・製品開発やものづくり企業等の技術力高度化を図るため、下記の事業を実施する。

#### 【1】試験研究

技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施する。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進する。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図る。

##### ○食品分野の主な研究テーマ

- ・山ワサビを活用した商品開発
- ・新規有用微生物による発酵食品の研究開発
- ・十勝産小麦の機能性に関する知見の取得
- ・チョウザメを原料とする加工品の開発

##### ○機械・電子分野の主な研究テーマ

- ・立植式長いもプランターの電動化と高機能化に関する研究開発
- ・インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発
- ・ISOBUS対応トラクター用のリモコン装置の開発
- ・血乳検査装置の事業化に向けた研究開発

#### 【2】技術支援

##### (1) 技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員による技術相談を実施するとともに、必要に応じて研究員を企業等の生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施する。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化する。

○食品分野

- ・食品加工技術に関する相談への対応
- ・生産現場等への訪問による実践的な技術支援

○機械・電子分野

- ・機械・電子技術に関する相談への対応
- ・生産現場等への訪問による実践的な技術支援

○共通

- ・関係機関との連携による「ものづくりワンストップ相談会」の実施

(2) 検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品等の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施する。

これにより、企業等の課題解決等を促進し、ものづくり技術力の強化を図る。

○食品分野

- ・食品の成分分析や理化学測定、微生物検査等（有料）

○機械・電子分野

- ・鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用品の検定試験等（有料）

(3) 技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、先端的な技術及び基礎・応用技術の習得を目的とした専門的で実践的な技術者養成セミナー・講習会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れる。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図る

○食品分野

- ・微生物検査実技等の実務に関する講習会等の開催
- ・「十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会」の開催
- ・企業等からの技術研修生の受け入れ

○機械・電子分野

- ・3D-CAD及び3Dプリンタの活用技術に関するセミナー等の開催
- ・<拡充> 企業等の要望に対応した「オンデマンド型技術セミナー」の実施  
(対応分野の拡充及び一部有料化)

#### (4) 情報発信・成果普及

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催等により試験研究・技術支援成果を普及する。

これにより、事業成果等の広範囲な普及を進め、成果の利活用を促進するとともに、財団事業への認知度・理解度の向上を図る。

##### ○食品分野

- ・「十勝圏地域食品加工技術者の会」の開催

##### ○共通

- ・成果発表会の開催
- ・関係機関等の主催事業への積極的な参加

#### 【3】施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施する。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図る。

##### ○食品分野

- ・食品加工技術センターの施設・設備・機器の適切な保守管理
- ・食品加工技術センター設置機器及び研修室の利用提供（有料）

##### ○機械・電子分野

- ・十勝産業振興センターの施設・設備・機器の適切な保守管理
- ・十勝産業振興センター設置機器及び会議室の利用提供（有料）

## 2 地域連携支援事業【公益目的事業2】

企業等が抱える経営課題の解決や、販路拡大・産学官金連携等の推進による地域産業活性化を図るため、下記の事業を実施する。

### 【1】企業相談

企業等が抱える経営課題の解決や、創業・起業・事業創発の促進を図るため、商工団体・産業支援団体・金融機関等の関係機関と連携・協力し、産業支援の経験が豊富な職員による経営・事業創発・知的財産等に関する相談を実施する。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、事業化支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化する。

- ・知的財産や経営・創業等に関する相談への対応

### 【2】開発商品等のPR及び販路拡大

#### (1) 展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展する。

これにより、マーケットが求める質の高い「価値」を効果的・広域的にPRし、一層の販売促進・販路拡大を図るとともに、地域内外における連携を強化する。

- ・「FOODEX JAPAN」(国際食品・飲料展) への出展
- ・「FOOMA JAPAN」(国際食品工業展) への出展
- ・地域内外で実施される展示会・イベント等への参画・協力等

#### (2) 十勝ブランドの推進

地域の食関連商品について、高品質や安全性の客観評価と維持向上による信頼性の確保をもって高付加価値化を推進し、販売促進や地産地消、また地域事業者の品質管理技術等の向上を図るため、食に関する「十勝ブランド」認証制度の運営を支援する。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る地域ブランドの形成・確立を図るとともに、認証制度・認証品の効果的なPRや事業者間の連携を促進する。あわせて、十勝ブランドの一層の推進を図るための新たな展開を検討する。

- ・「十勝ブランド認証機構」の運営支援  
(認証制度の管理運営、認証品のPR・販売促進等)
- ・<新規>「十勝ブランド」の新たな展開の検討

### 【3】地域連携の促進支援

事業創発・「売れる」ものづくり・販路拡大等に有効な地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、意見交換や情報共有による相互理解、必要な知識の習得、共通課題の検討、販売・マーケティング力の向上等を目的とした「交流の機会づくり」と十勝産業振興センターの「ビジネス利用の交流拠点化」に取り組む。

これにより、十勝の「稼ぐ力」を創り出すためのプラットフォームの構築・形成を促進する。

- ・ 地域連携の促進及び事業化支援に関する積極的な情報収集
- ・ 関係機関等の主催事業への積極的な参加による人的ネットワークの構築促進
- ・ <新規> 十勝産業振興センターの「ビジネス利用の交流拠点化」の促進
- ・ <新規> フリーWi-Fiサービスの提供による十勝産業振興センターの利便性の向上

### 3 事業創発支援事業【公益目的事業3】

地域産業の担い手の育成を通じた創業・起業・事業創発の促進による地域産業活性化を図るため、下記の事業を実施する。

#### 【1】人材育成

##### ①学生起業家支援

事業創発人材の持続的な育成を図るため、将来、十勝地域で創業・起業・事業創発を志す学生等に対し、奨学金を給付する。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ有能な人材の輩出を促進する。

- ・＜新規＞「学生起業家育成奨学金」（仮称）の給付

##### ②アーリーステージ事業者支援

事業化のスタートを支援するため、十勝地域で創業・新規事業を開始してから5年以内の事業者に対し、支援金を助成する。

これにより、アーリーステージ（成長初期段階）にある有望な事業者が実施する新事業の展開を促進する。

- ・＜新規＞「アーリーステージファンド」（仮称）による事業支援金の助成

##### ③十勝人チャレンジ支援

事業者等による新事業創発を支援するため、十勝圏域のチャレンジ意欲の高い産業人材に対し、国内外の先進地域等への調査研究資金を助成する。

これにより、事業創発に必要な技術導入や課題解決を促進し、地域の産業の発展に寄与できる積極的な人材を育成する。

- ・＜新規＞「十勝人チャレンジ支援事業」による調査研究資金の助成

#### 【2】事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関等と連携し、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営する。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、起業家人材の抽出と創業・起業・事業創発を加速する

- ・「トカチコネクション」の運営  
（ヒアリングやアドバイザーマッチングの実施、支援情報の発信等）



#### 4 収益事業

事業者等からの申し込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化・新事業創出・産業活性化を図る。

収益事業における新たな取り組みとして、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業のメニューを新設する。

以 上